

第四回

# 一二毛紀「花子」披キ

三宅近成 「花子」

披キ

妻の前では知らず、愛人花子との逢瀬を小歌で綴る。  
謡の情感が重要で至難な大曲



平成二十七年一月十八日(日)十三時開演(十二時半開場)

喜多能楽堂

# 三宅狂言会

番組

## 舟ふな

主 太郎冠者  
三宅 金田 弘明  
右近

主人は太郎冠者を引き連れて西宮に見物に行きます。途中、神崎の渡しにさしかかった主人は、太郎冠者に渡し船を呼ぶよう言いつけます。すると太郎冠者は舟を「ふな」と呼ぶので、主人は「ふね」と言うよう命じます。太郎冠者は「ふな」こそ正しいと古歌を引けば、主人も負けず、「ふね」と詠まれた歌を言い返しますが・・・

## 花子

夫 太郎冠者  
妻 野村 高澤 万蔵  
三宅 近成 祐介

花子 はなご

以前、馴染みになつた女「花子」から、自分に会いに都に上つてきたという手紙をもらつた男は、何とか妻を出し抜こうと、太郎冠者に自分の身代わりに座禅をさせると、頭から衾をかぶせて出かけてゆきます。一晩経つて帰つてきた男は、衾を被つたままの太郎冠者を前に、延々と花子との一夜の思い出を語りますが・・・

長時間にわたり、花子とののろけ話を、謡と舞を交えて独演する後半部は庄巻。「釣狐」、「金岡」という秘曲を勤めた後に披く至難の大曲を、三宅近成が披きます。

## 葺

山伏 何某 立衆  
前田 高澤 河路 金田  
三宅 大塚 志賀 幸良  
祐介 弘明 雅義 雅義  
晃一 右矩 金田 金田  
高澤 河路 金田 金田  
河路 金田 金田 金田  
高澤 金田 金田 金田  
前田 金田 金田 金田  
三宅 金田 金田 金田  
大塚 金田 金田 金田  
志賀 金田 金田 金田  
平良 金田 金田 金田  
栗原福太郎 金田 金田 金田  
平良 仁美 仁美 仁美  
栗原満太郎 仁美 仁美 仁美  
吉川 秀樹 秀樹 秀樹  
土屋 光 光 光

## 葺

くさびら

屋敷の中に突如生えてきた巨大な葺(くさびら)を退治してもらおうと、何某は山伏を訪ねます。快く引き受けた山伏は、得意の法力で葺を調伏しようと、ひとたび祈ったところ、退治されるどころか、新たな葺が出現します。祈れば祈るほど増え続け、悪さまでしかす葺に困り果てた山伏たちの前に現れたのは・・・

十四世喜多六平太記念能楽堂

杉野服飾大学(トレーミ学院)

香港園

行人坂



喜多能樂堂

品川区上大崎 4-6-9  
TEL 03-3491-8813

体育館

博物館

教会

パーカタワー目黒

DPE 55

横瀬坂

(横瀬通)

至五反田

東急・都営

東京メトロ

目黒駅

西口

JR 目黒駅

至恵比寿

## 入場料

S席 7,000円  
(6,500円)

A席 5,000円  
(4,500円)

自由席 3,500円  
(3,000円)

## 第四回 三宅狂言会

平成27年1月18日(日)  
午後1時開演(12時半開場)

お問い合わせ

Tel&Fax 03-6766-7325(三宅)  
info@miyake-kyougen.com  
http://miyake-kyougen.com